

令和5年度PRTRデータの概要（千葉市内分）について
 —化学物質の排出量・移動量の集計結果—

平成11年7月に公布された「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」（化学物質排出把握管理促進法又はPRTR法）に基づき、国あてに事業者から届出があった令和5年度分の千葉市内の化学物質の排出量・移動量について、本年2月28日に国が公表したデータを基に市独自に集計した結果がまとまりましたので公表します。

今回は、同法施行後23回目の集計結果の公表で、その概要は以下に示すとおりです。

なお、国のホームページでは、個別事業所から届出のあった排出量等のデータ及び届出対象外の排出量の推計値を閲覧できます。

※PRTRデータに関するホームページ：<http://www.env.go.jp/chemi/prtr/risk0.html>

I 令和5年度PRTRデータの集計結果

1. 集計結果の概要

(1) 届出事業所数（詳細はP.2）

千葉市（県内全体に占める割合）	千葉県	全国
154 事業所（12.6%）	1,221 事業所	32,502 事業所

(2) 届出排出量・移動量（詳細はP.3）

	千葉市（県内全体に占める割合）	千葉県	全国
届出排出量	614 トン（12.9%）	4,748 トン	137 千トン
届出移動量	1,239 トン（12.0%）	10,397 トン	266 千トン
届出排出量・移動量	1,853 トン（12.2%）	15,145 トン	403 千トン

※ダイオキシン類を除く。（これ以降の届出排出量及び移動量も同様）

※本集計結果における各割合や総排出量比等は、各事業所から届けられた排出量・移動量データの合計から算出したものであり、整数表示している集計値から算出した値とは異なる場合がある。（これ以降も同様）

(3) 千葉市内で届出排出量・移動量が多い物質（詳細はP.7及び8）

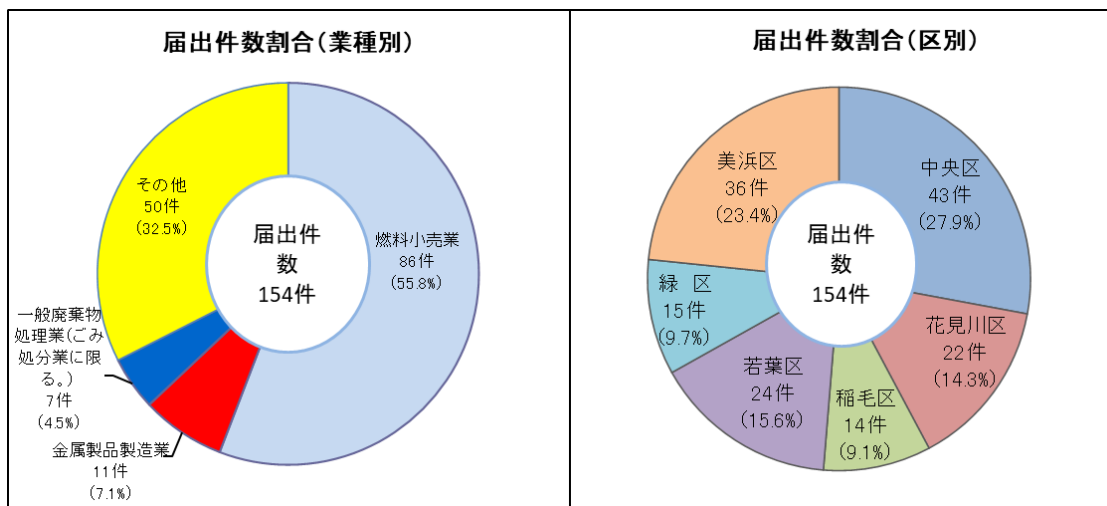
届出排出量 上位3物質（総排出量比）	① ノルマル-ヘキサン	172 トン（28.1%）
	② キシレン	86 トン（14.1%）
	③ ふっ化水素及びその水溶性塩	66 トン（10.7%）
届出移動量 上位3物質（総移動量比）	① 無水フタル酸	410 トン（33.1%）
	②クロム及び三価クロム化合物	161 トン（13.0%）
	③ N, N-ジメチルホルムアミド	112 トン（9.5%）

2. 行政区・業種別の届出状況

本市においては、29業種・154事業所から届出があり、燃料小売業からの届出数が全体の55.8%を占めています。また、行政区別では、中央区が最も多く27.9%を占め、次いで美浜区、若葉区となっています。

(単位:事業所数、%)

業種名	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計	割合
金属鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
原油・天然ガス鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
製造業	16	4	5	3	4	10	42	27.3
食料品製造業	0	0	0	1	0	4	5	
飲料・たばこ・飼料製造業	0	0	0	0	0	0	0	
酒類製造業	0	0	0	0	0	0	0	
たばこ製造業	0	0	0	0	0	0	0	
繊維工業	0	0	0	0	0	0	0	
衣服・その他の繊維製品製造業	0	0	0	0	0	0	0	
木材・木製品製造業	0	1	0	0	0	0	1	
家具・装備品製造業	0	0	0	0	1	0	1	
パルプ・紙・紙加工品製造業	0	0	0	0	0	0	0	
出版・印刷・同関連産業	0	0	0	0	0	0	0	
化学工業	1	0	0	0	0	1	2	
塩製造業	0	0	0	0	0	0	0	
医薬品製造業	0	0	0	0	0	1	1	
農薬製造業	0	0	0	0	0	0	0	
石油製品・石炭製品製造業	2	0	0	0	0	0	2	
プラスチック製品製造業	1	0	0	0	0	1	2	
ゴム製品製造業	0	0	0	0	0	0	0	
なめし革・同製品・毛皮製造業	0	0	0	0	0	0	0	
窯業・土石製品製造業	1	0	0	1	0	0	2	
鉄鋼業	3	0	0	0	0	0	3	
非鉄金属製造業	1	0	2	0	0	0	3	
金属製品製造業	6	1	1	0	1	2	11	
一般機械器具製造業	0	1	2	0	1	0	4	
電気機械器具製造業	0	0	0	0	1	0	1	
電子応用装置製造業	0	0	0	0	0	0	0	
電気計測器製造業	0	0	0	0	0	0	0	
輸送用機械器具製造業	0	0	0	1	0	1	2	
鉄道車両・同部分品製造業	0	0	0	0	0	0	0	
船舶製造・修理業、船用機関製造業	0	0	0	0	0	0	0	
精密機械器具製造業	0	0	0	0	0	0	0	
医療用機械器具・医療用品製造業	0	1	0	0	0	0	1	
武器製造業	0	0	0	0	0	0	0	
その他の製造業	1	0	0	0	0	0	1	
電気業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
ガス業	1	0	0	0	0	0	1	0.6
熱供給業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
下水道業	1	0	0	0	0	2	3	1.9
鉄道業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
倉庫業	0	0	0	0	0	3	3	1.9
石油卸売業	0	0	0	0	0	1	1	0.6
鉄スクラップ卸売業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
自動車卸売業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
燃料小売業	22	14	8	16	11	15	86	55.8
洗濯業	0	0	0	1	0	3	4	2.6
写真業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
自動車整備業	0	0	0	0	0	1	1	0.6
機械修理業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
商品検査業	0	1	0	0	0	0	1	0.6
計量証明業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
一般廃棄物処理業(ごみ処分業に限る。)	1	1	0	4	0	1	7	4.5
産業廃棄物処分業	1	1	0	0	0	0	2	1.3
特別管理産業廃棄物処分業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
医療業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
高等教育機関	1	0	1	0	0	0	2	1.3
自然科学研究所	0	1	0	0	0	0	1	0.6
合計	43	22	14	24	15	36	154	100.0



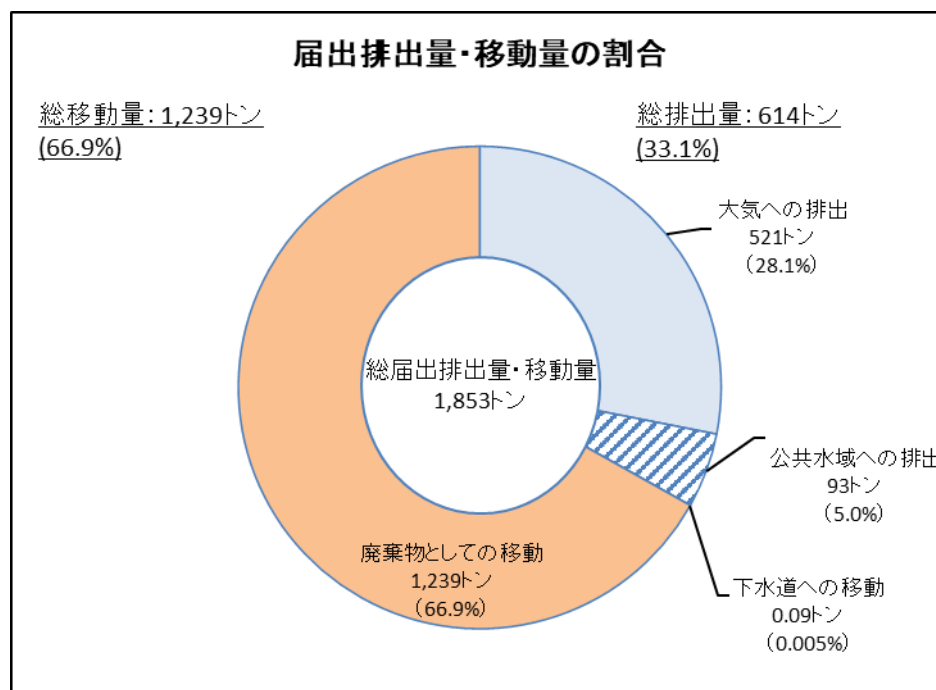
3. 届出排出量・移動量の集計結果

(1) 届出排出量・移動量の内訳

事業所から届出のあった総排出量及び総移動量の内訳は下図のとおりです。

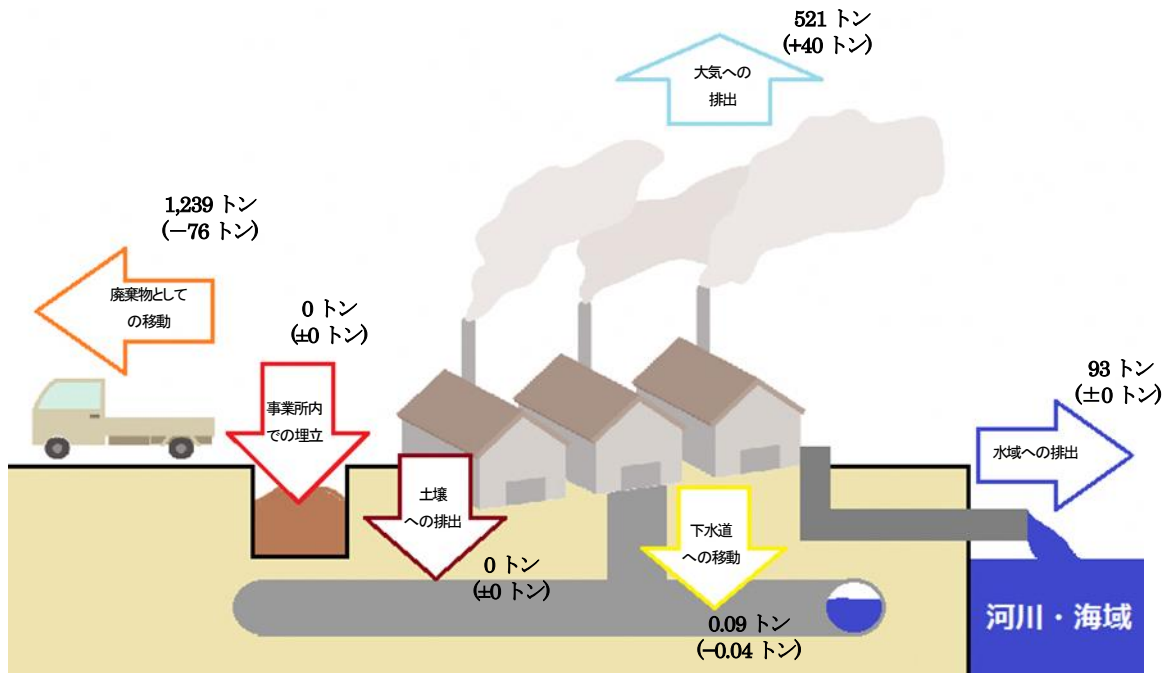
排出量では大気への排出が最も多く、全体の28.1%を占めており、移動量ではそのほとんどが廃棄物としての移動でした。

また、土壌への搬出及び事業所内における埋立処理の届出はありませんでした。



※ () 内は、総届出排出量・移動量に対する比率

排出量・移動量の区分



※ () 内は、前年度比

(2) 行政区別の排出量・移動量

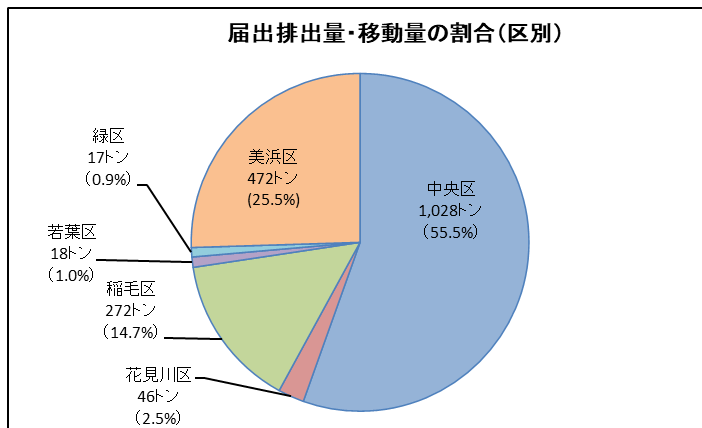
行政区別では、中央区が最も多く 55.5%を占め、次いで美浜区、稲毛区となっています。

区名	排出量(kg/年) ^{※1}				合計 ^{※3}	移動量(kg/年) ^{※2}			排出・移動量の合計 ^{※3}	割合(%)
	大気	水域	土壌	埋立		下水道	廃棄物	合計 ^{※3}		
中央区	141,957	69,910	0	0	211,867	0	815,771	815,771	1,027,638	55.5
花見川区	38,749	8	0	0	38,756	0	7,449	7,449	46,205	2.5
稲毛区	100,422	0	0	0	100,422	0	171,480	171,480	271,902	14.7
若葉区	14,725	249	0	0	14,974	0	3,220	3,220	18,194	1.0
緑区	13,888	0	0	0	13,888	0	2,704	2,704	16,592	0.9
美浜区	210,842	23,059	0	0	233,901	90	238,287	238,377	472,278	25.5
合計	520,583	93,225	0	0	613,808	90	1,238,911	1,239,000	1,852,809	100
割合(%)	28.1	5.0	0.0	0.0	33.1	0.005	66.9	66.9	100	

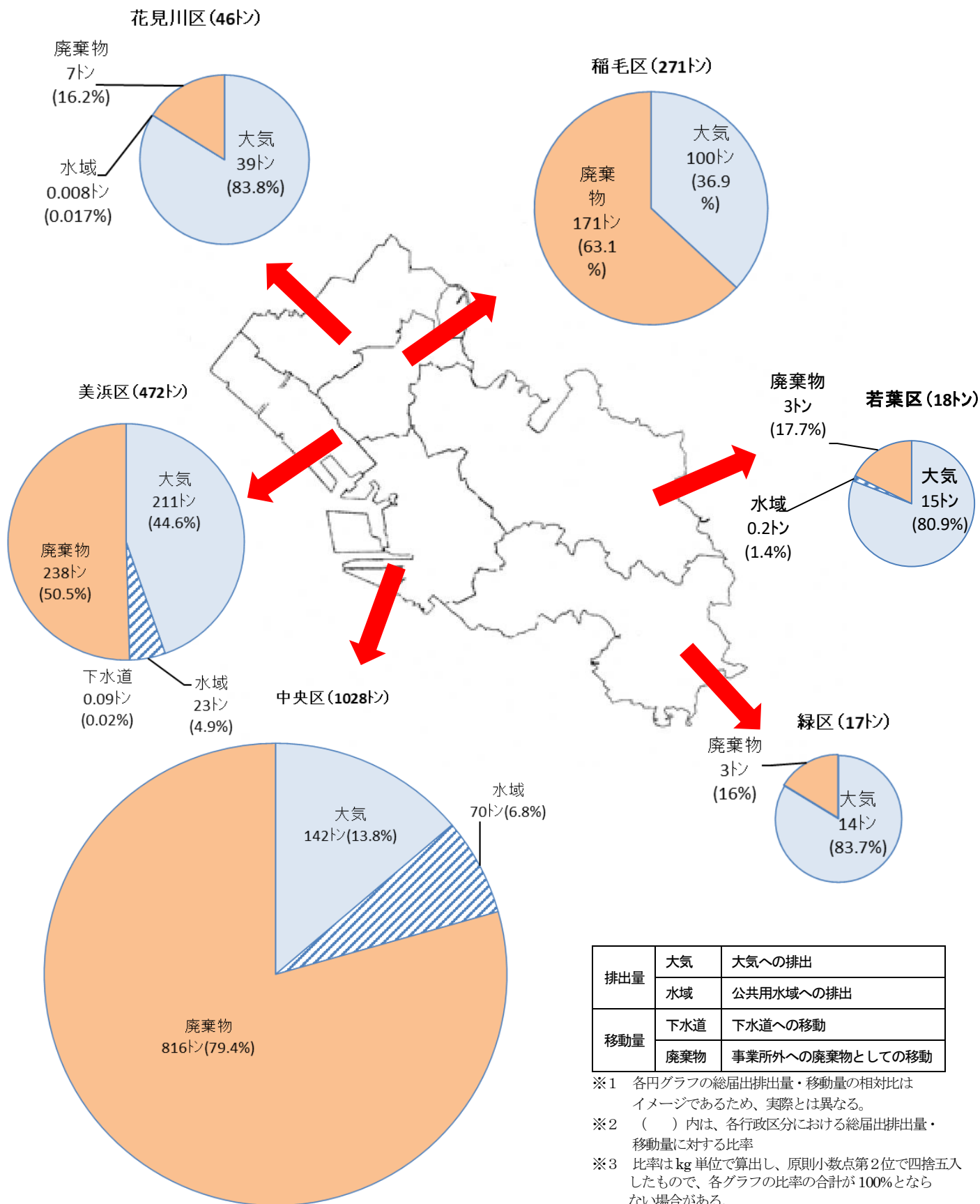
※1 大気：大気への排出 水域：公共用水域への排出 土壌：事業所内の土壌への排出 埋立：事業所内の埋立処分

※2 下水道：下水道への移動 廃棄物：事業所外への廃棄物としての移動

※3 排出量・移動量の合計は、各事業所からの届けられた該当データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、本集計表の排出量等の各欄を縦・横方向に合計した数値とは異なる場合がある。



各行政区別の届出排出量・移動量の割合



排出量	大気	大気への排出
	水域	公共用水域への排出
移動量	下水道	下水道への移動
	廃棄物	事業所外への廃棄物としての移動

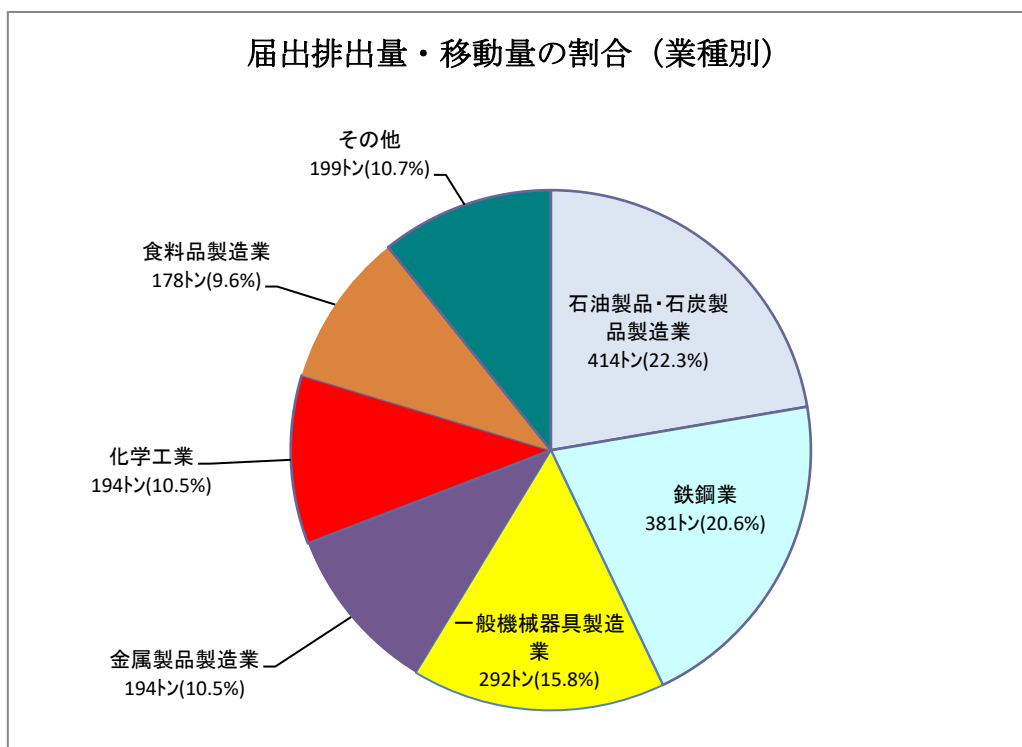
- ※1 各円グラフの総届出排出量・移動量の相対比はイメージであるため、実際とは異なる。
- ※2 () 内は、各行政区分における総届出排出量・移動量に対する比率
- ※3 比率はkg単位で算出し、原則小数点第2位で四捨五入したもので、各グラフの比率の合計が100%とならない場合がある。

(3) 業種別排出量・移動量

業種別の届出排出量・移動量の集計した結果が以下のとおりであり、石油製品・石炭製品製造業が最も多く22.3%を占め、次いで鉄鋼業、一般機械器具製造業となっています。また、石油製品・石炭製品製造業の主な排出先・移動先は、事業所外への廃棄物としての移動でした。

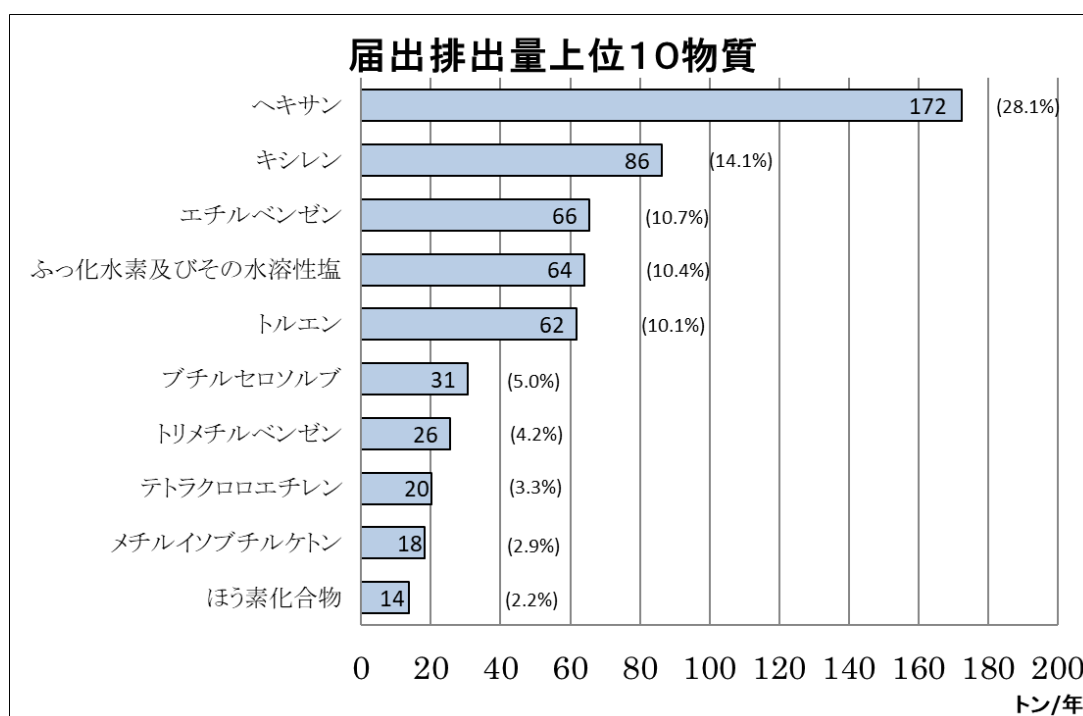
業種名	届出数	排出量(kg/年) ^{※1}					移動量(kg/年) ^{※2}			排出量・移動量の合計 ^{※3}	割合(%)
		大気	水域	土壌	埋立	合計 ^{※3}	下水道	廃棄物	合計 ^{※3}		
製造業	42	475,843	61,155	0	0	536,998	8	1,219,754	1,219,762	1,756,760	94.8
食料品製造業	5	172,209	0	0	0	172,209	0	5,550	5,550	177,759	9.6
木材・木製品製造業	1	6,720	0	0	0	6,720	0	599	599	7,319	0.4
家具・装備品製造業	1	4,200	0	0	0	4,200	0	1,070	1,070	5,270	0.3
化学工業	2	257	0	0	0	257	8	194,000	194,008	194,265	10.5
医薬品製造業	1	8,232	1,000	0	0	9,232	0	36,100	36,100	45,332	2.4
石油製品・石炭製品製造業	2	2,166	0	0	0	2,166	0	411,400	411,400	413,566	22.3
プラスチック製品製造業	2	0	84	0	0	84	0	0	0	84	0.0
窯業・土石製品製造業	2	135	0	0	0	135	0	241	241	376	0.0
鉄鋼業	3	18,338	60,063	0	0	78,401	0	303,023	303,023	381,424	20.6
非鉄金属製造業	3	4,400	0	0	0	4,400	0	25,650	25,650	30,050	1.6
金属製品製造業	11	124,831	8	0	0	124,839	0	69,590	69,590	194,429	10.5
一般機械器具製造業	4	119,730	0	0	0	119,730	0	172,520	172,520	292,250	15.8
電気機械器具製造業	1	9	0	0	0	9	0	0	0	9	0.0
輸送用機械器具製造業	2	9,316	0	0	0	9,316	0	0	0	9,316	0.5
医療用機械器具・医療用品製造業	1	5,300	0	0	0	5,300	0	0	0	5,300	0.3
その他の製造業	1	0	0	0	0	0	0	11	11	11	0.0
ガス業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
下水道業	3	2	30,362	0	0	30,364	0	0	0	30,364	1.6
倉庫業	3	2,100	0	0	0	2,100	0	0	0	2,100	0.1
石油卸売業	1	93	0	0	0	93	0	737	737	830	0.0
燃料小売業	86	19,334	0	0	0	19,334	0	0	0	19,334	1.0
洗濯業	4	20,100	1,300	0	0	21,400	82	4,020	4,102	25,502	1.4
自動車整備業	1	2,200	0	0	0	2,200	0	0	0	2,200	0.1
商品検査業	1	0	0	0	0	0	0	1,400	1,400	1,400	0.1
一般廃棄物処理業(ごみ処分業に限る。)	7	3	409	0	0	412	0	0	0	412	0.0
産業廃棄物処分業	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
高等教育機関	2	908	0	0	0	908	0	13,000	13,000	13,908	0.8
自然科学研究所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
全業種合計	154	520,583	93,225	0	0	613,808	90	1,238,911	1,239,000	1,852,809	100.0
割合(%)		28.1	5.0	0.0	0.0	33.1	0.0	66.9	66.9	100.0	

※1～3については、3(2)行政区別の排出量・移動量と同じ



(4) 届出排出量の中で多い物質

届出排出量上位 10 物質の合計は 558 トンで、総届出排出量 614 トンの 90.9%にあたります。



※ 集計値は、各事業所から届けられた当該データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、数の合計値と数値が異なる場合がある。

届出排出量上位 5 物質の主な業種と各物質の一般的な用途

順位	物質名	主な業種	届出排出量(kg)	主な用途
1	ヘキサン	食料品製造業	160,000	溶剤
		燃料小売業	11,485	
		医薬品製造業	510	
2	キシレン	一般機械器具製造業	41,800	合成原料、ガソリン・灯油成分、溶剤
		金属製品製造業	31,670	
		鉄鋼業	7,000	
3	エチルベンゼン	一般機械器具製造業	34,800	合成原料、溶剤
		金属製品製造業	21,670	
		鉄鋼業	5,695	
4	ふっ化水素及びその水溶性塩	鉄鋼業	51,000	合成原料、金属・ガラスの表面処理剤等
		下水道業	12,900	
		一般廃棄物処理業 (ごみ処分量に限る。)	223	
5	トルエン	金属製品製造業	18,460	合成原料、ガソリン成分、溶剤等
		一般機械器具製造業	16,998	
		食料品製造業	8,800	

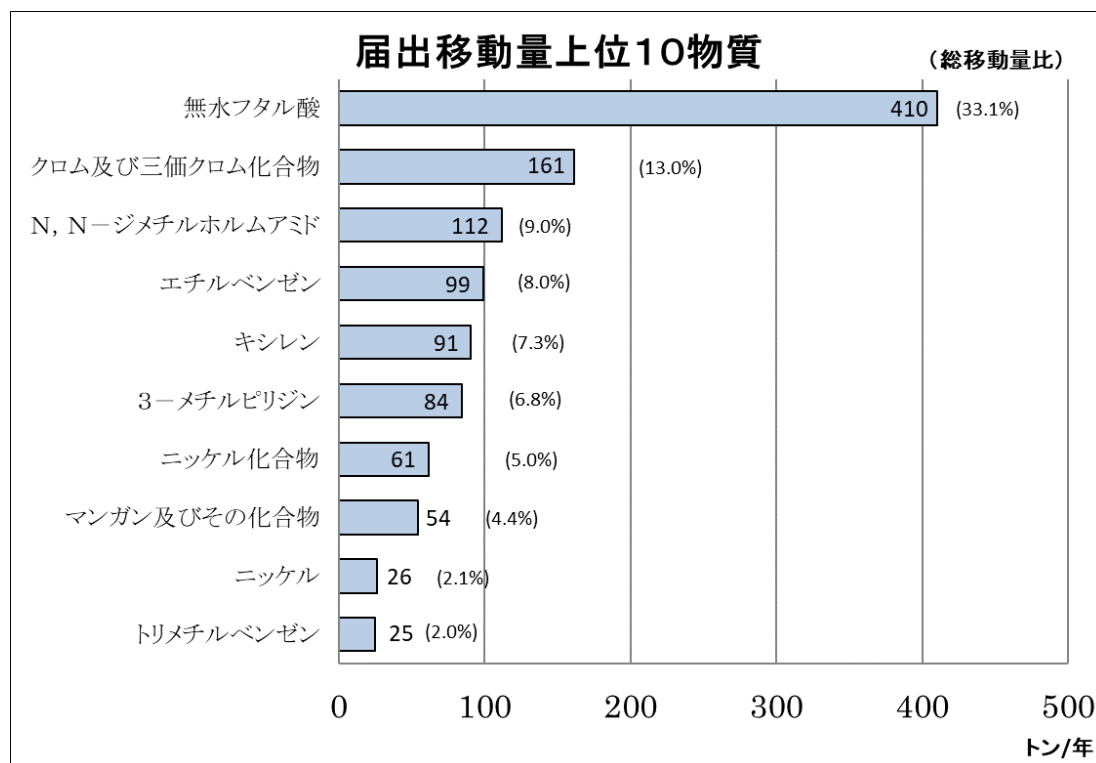
区別届出排出量上位5物質

(単位：kg)

区	物質名	届出排出量	区	物質名	届出排出量
中央区	①ふっ化水素及びその水溶性塩	53,682	若葉区	①キシレン	4,039
	②キシレン	35,312		②トルエン	3,346
	③ブチルセロソルブ	28,000		③エチルベンゼン	3,135
	④エチルベンゼン	26,234		④ヘキサン	2,513
	⑤トルエン	17,040		⑤テトラクロロエチレン	1,100
花見川区	①トルエン	21,198	緑区	①トルエン	4,759
	②フェノール	4,700		②ブチルセロソルブ	2,500
	③キシレン	4,218		③キシレン	2,289
	④エチルベンゼン	3,330		④ジエチルグリコールモノブチルエーテル	1,700
	⑤ヘキサン	2,096		⑤ヘキサン	1,632
稲毛区	①キシレン	37,736	美浜区	①ヘキサン	161,884
	②エチルベンゼン	31,589		②テトラクロロエチレン	19,000
	③トリメチルベンゼン	11,009		③トルエン	13,311
	④メチルイソブチルケトン	9,300		④ふっ化水素及びその水溶性塩	10,300
	⑤アセチルアセトン	2,800		⑤ほう素化合物	7,700

(5) 届出移動量の中で多い物質

届出移動量上位10物質の合計は1,079トンで、総届出移動量1,178トンの91.6%にあたります。



※ 集計値は、各事業所から届けられた当該データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、数の合計値と数値が異なる場合がある。

届出移動量上位5物質の主な業種と各物質の一般的な用途

順位	物質名	主な業種	届出移動量(kg)	主な用途
1	無水フタル酸※ ¹	石油製品・石炭製品 製造業	410,000	合成樹脂原料、合成 原料、ゴム薬品
2	クロム及び三価クロム化合物※ ²	鉄鋼業	190,000	ステンレス鋼、メッ キ、顔料等
		金属製品製造業	970	
3	N, N-ジメチルホルムアミド※ ²	化学工業	110,004	溶剤、試薬、ガス吸収 剤
		医薬品製造業	1,700	
4	エチルベンゼン	一般機械器具製造業	87,470	合成原料、溶剤
		金属製品製造業	9,340	
		鉄鋼業	1,900	
5	キシレン	一般機械器具製造業	72,600	合成原料、ガソリン・ 灯油成分、溶剤
		金属製品製造業	7,964	
		鉄鋼業	6,500	

※¹ 無水フタル酸については、1業種のみから届出があった。

※² クロム及び三価クロム化合物、N, N-ジメチルホルムアミドについては、2業種のみから届出があった。

区別届出移動量上位5物質

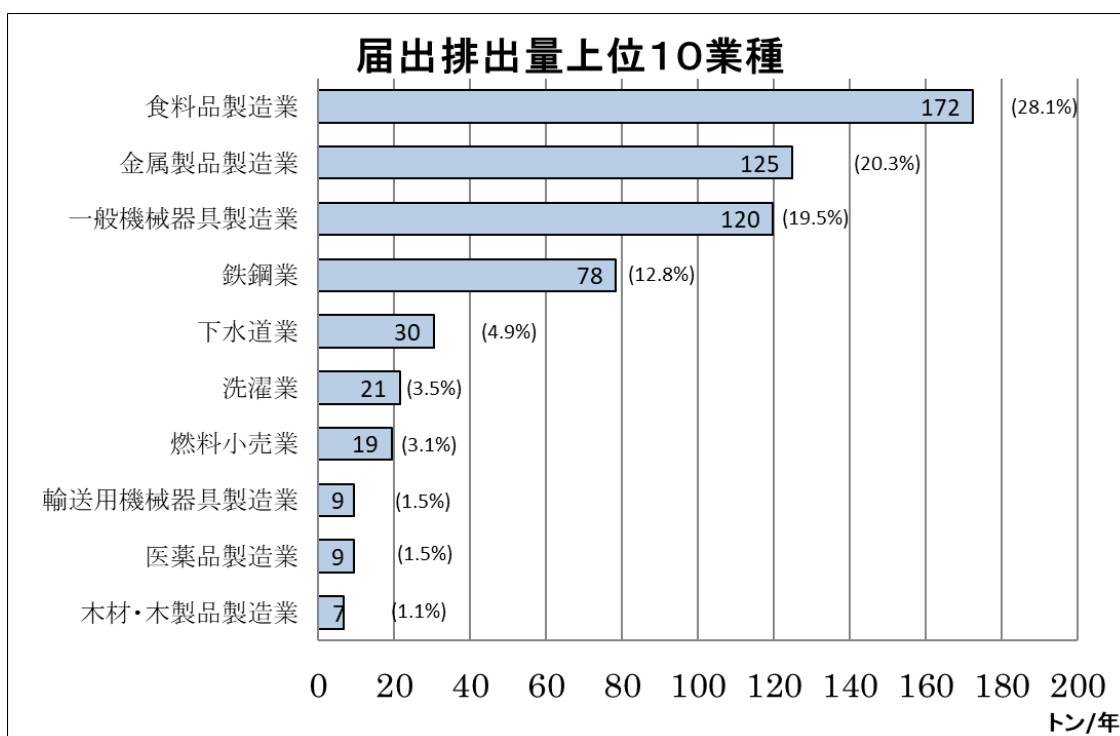
(単位: kg)

区名	物質名	届出移動量	区名	物質名	届出移動量
中央区	①無水フタル酸	410,000	若葉区 ※ ¹	①テトラクロロエチレン	3,100
	②クロム及び三価クロム化合物	160,970		②フェノール	120
	③ニッケル化合物	61,375			
	④マンガン及びその化合物	54,330			
	⑤ニッケル	25,011			
花見川区	①トルエン	3,600	緑区	①トルエン	1,300
	②トリメチルベンゼン	1,900		②ブチルセロソルブ	640
	③キシレン	600		③ジエチレングリコールモノブチルエーテル	430
	④エチルベンゼン	470		④エチルベンゼン	240
	⑤フェノール	400		⑤キシレン	94
稲毛区	①エチルベンゼン	87,000	美浜区	①N, N-ジメチルホルムアミド	111,704
	②キシレン	72,000		②3-メチルピリジン	84,003
	③トリメチルベンゼン	6,300		③クロロホルム	11,000
	④クロロホルム	2,300		④シクロヘキサン	7,200
	⑤ヘキサン	1,800		⑤1, 4-ジオキサン	5,900

※¹ 若葉区の移動量については、2物質のみの届出があった。

(6) 届出排出量の中で多い業種

届出排出量上位 10 業種の合計は 592 トンで、総届出排出量 614 トンの 96.4%にあたります。



※ 集計値は、各事業所から届けられた当該データの合計について小数点第 1 位で四捨五入し、整数表示したもので、数の合計値と数値が異なる場合がある。

区別届出排出量上位 5 業種

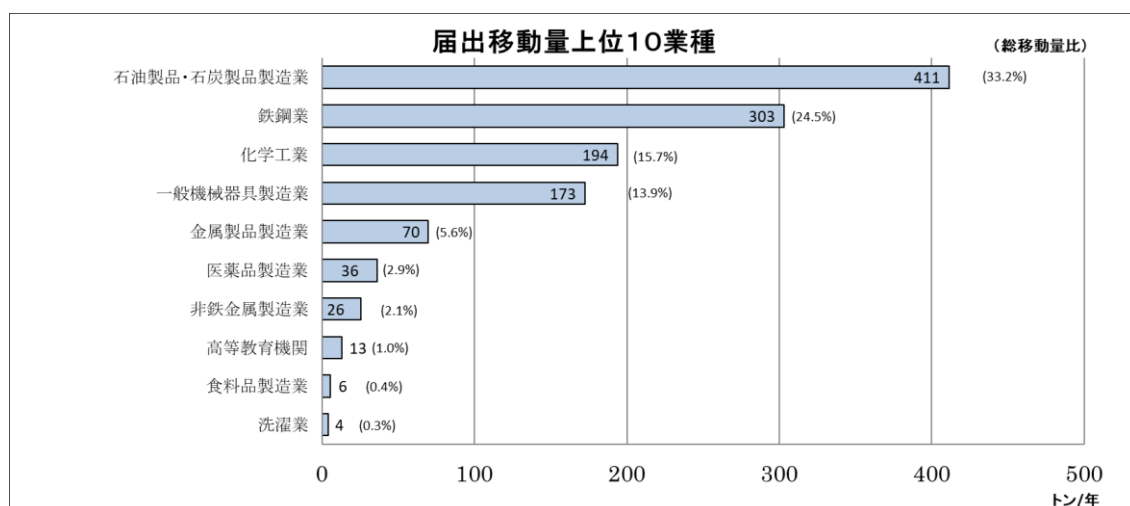
(単位 : kg)

区名	物質名	届出排出量	区名	物質名	届出排出量
中央区	①金属製品製造業	116,159	若葉区	①輸送用機械器具製造業	9,300
	②鉄鋼業	78,401		②燃料小売業	4,206
	③下水道業	9,603		③洗濯業	1,100
	④燃料小売業	4,678		④一般廃棄物処理業 (ごみ処分業に限る。)	249
	⑤石油製品・石炭製品製造業	2,166		⑤窯業・土石製品製造業	110
花見川区	①一般機械器具製造業	23,192	緑区	①金属製品製造業	5,070
	②木材・木製品製造業	6,720		②家具・装備品製造業	4,200
	③医療用機械器具・医療用品製造業	5,300		③燃料小売業	2,710
	④燃料小売業	3,533		④一般機械器具製造業	1,900
	⑤金属製品製造業	8		⑤電気機械器具製造業	9
稲毛区 ※1	①一般機械器具製造業	94,638	美浜区	①食品製造業	172,200
	②非鉄金属製造業	4,400		②下水道業	20,761
	③燃料小売業	1,067		③洗濯業	20,300
	④高等教育機関	317		④医薬品製造業	9,232
				⑤金属製品製造業	3,602

※1 稲毛区の排出量については、4 業種のみから届出があった。

(7) 届出移動量の中で多い業種

届出移動量上位 10 業種の合計は 1,235 トンで、総届出移動量 1,239 トンの 99.7%にあたります。



※ 集計値は、各事業所から届けられた当該データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、数の合計値と数値が異なる場合がある。

区別届出移動量上位5業種

(単位：kg)

区名	業種名	届出移動量	区名	業種名	届出移動量
中央区	①石油製品・石炭製品製造業	411,400	若葉区	①洗濯業	3,100
	②鉄鋼業	303,023		②窯業・土石製品製造業	120
	③金属製品製造業	67,316	※3		
	④非鉄金属製造業	25,000			
	⑤高等教育機関	8,900			
花見川区	①一般機械器具製造業	5,450	※4	①金属製品製造業	1,164
	②商品検査業	1,400		②家具・装備品製造業	1,070
	③木材・木製品製造業	599		③一般機械器具製造業	470.0
※1			美浜区	①化学工業	194,008
	①一般機械器具製造業	166,600		②医薬品製造業	36,100
	②高等教育機関	4,100		③食料品製造業	5,550
	③非鉄金属製造業	650		④洗濯業	1,002
④金属製品製造業	130	⑤金属製品製造業		980	

※1 花見川区の移動量については、3業種のみから届出があった。

※2 稲毛区の移動量については、4業種のみから届出があった。

※3 若葉区の移動量については、2業種のみから届出があった。

※4 緑区の移動量については、3業種のみから届出があった。

II 令和5年度データと前年度までのデータの比較

化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）に基づき事業者から届出のあった排出量及び移動量の集計結果は、次のとおりです。

1. 届出事業所数

令和5年度に届出のあった事業所数は154事業所で、前年度から増減はありませんでした。

2. 届出排出量・移動量

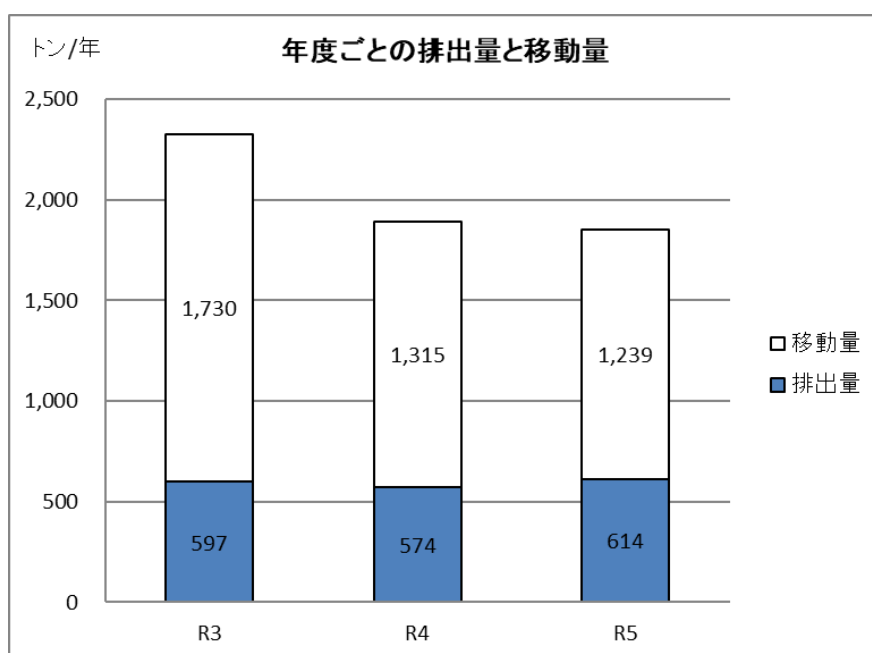
令和5年度分の届出排出量・移動量の合計は1,853トンで、前年度より36トン減少しました。排出量については614トンで前年度より40トン増大、移動量については1,239トンで前年度より76トン減少しました。

届出排出量・移動量の経年変化

単位:kg/年

排出先		R3年度	R4年度	R5年度	前年度比増減
排出量	大気	496,478	480,343	520,583	+40,240
	公共用水域	100,543	93,407	93,225	-182
	土壌	0	0	0	±0
	埋立処分	0	0	0	±0
	合計	597,021	573,750	613,808	+40,058
移動量	下水道	84	127	90	-37
	廃棄物	1,730,172	1,315,047	1,238,911	-76,136
	合計	1,730,256	1,315,174	1,239,000	-76,174
排出量・移動量の合計		2,327,277	1,888,924	1,852,809	-36,115
届出事業所数		155	154	154	±0

※ 排出量・移動量の合計は、各事業所から届けられた当該データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、本集計表の排出量等の各欄を合計した数値とは異なる場合がある。



(1) 業種別の届出排出量・移動量

令和3年度から令和5年度の届出排出量・移動量の業種別経年変化は次のとおりです。

届出排出量・移動量の業種別経年変化

業種名	排出量・移動量の合計(kg/年)		
	R3	R4	R5
製造業	2,247,061	1,810,044	1,756,760
食料品製造業	166,840	192,460	177,759
木材・木製品製造業	11,743	8,132	7,319
家具・装備品製造業	-	-	5,270
化学工業	144,194	173,245	194,265
医薬品製造業	65,310	46,430	45,332
石油製品・石炭製品製造業	662,092	602,518	413,566
プラスチック製品製造業	88	84	84
窯業・土石製品製造業	370	350	376
鉄鋼業	734,591	362,304	381,424
非鉄金属製造業	38,943	13,970	30,050
金属製品製造業	164,394	147,254	194,429
一般機械器具製造業	236,150	244,580	292,250
電気機械器具製造業	-	-	9
輸送用機械器具製造業	16,546	13,653	9,316
医療用機械器具・医療用品製造業	5,800	4,900	5,300
その他の製造業	-	164	11
電気業	3,100	0	-
ガス業	-	-	0
下水道業	31,927	35,025	30,364
倉庫業	2,589	2,930	2,100
石油卸売業	1,129	624	830
燃料小売業	23,935	20,658	19,334
洗濯業	3,398	2,520	25,502
自動車整備業	4,635	4,136	2,200
商品検査業	1,501	1,401	1,400
一般廃棄物処理業(ごみ処分業に限る。)	539	466	412
産業廃棄物処分業	0	0	0
高等教育機関	7,452	11,121	13,908
自然科学研究所	13	0	0
全業種合計	2,327,277	1,888,924	1,852,809

※ 排出量・移動量の合計は、各事業所から届けられた当該データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、本集計表の排出量等の各欄を合計した数値とは異なる場合がある。

※ 表中「-」は対象年度中に届出なしを示す。

(2) 届出排出量・移動量の上位3物質

令和5年度分における届出排出量・移動量の上位3物質の経年変化は次のとおりです。

排出量では上位3物質のヘキサン、キシレン、エチルベンゼンが前年度より減少しました。移動量では、N, N-ジメチルホルムアミドの1物質が前年度より増加し、無水フタル酸、クロム及び三価クロム化合物の2物質が前年度より減少しました。

届出排出量上位3物質の経年変化

順位	物質番号	物質名	届出排出量(kg/年)		
			R3	R4	R5
1	392	ヘキサン	176,136	194,392	172,344
2	80	キシレン	102,467	89,264	86,304
3	53	エチルベンゼン	66,099	67,261	65,508
市全体の総届出排出量			597,021	573,750	613,808

届出移動量上位3物質の経年変化

順位	物質番号	物質名	届出移動量(kg/年)		
			R3	R4	R5
1	413	無水フタル酸	660,000	600,000	410,000
2	87	クロム及び三価クロム化合物	530,440	190,910	160,970
3	232	N, N-ジメチルホルムアミド	88,303	96,604	111,704
市全体の総届出移動量			1,730,256	1,315,174	1,239,000

